



先日、中学校のプチ同窓会が東京であって参加してきました。

長い間、ガン治療をしていた横浜在住の同窓生が体調も良くなり

食欲も出てきたというので、関東在住の同窓生が集まることになったと聞いたからです。

10代前半の時に机を並べていた仲間との楽しい時間。

その中で僕が忘れかけていたことが話題になり昔話で盛り上がりました。

それは、小学生の頃カゼで休んだクラスメートの自宅に、その近所に住むクラスメートが

給食のパンやプリント（連絡帳？）を持って行ったという思い出。

体の弱かった僕も学校を休んで持って来てもらったことがあります。なにやら嬉しいやら恥ずかしいやら、そんな気持ちだったように思います。でもやっぱり嬉しかったはず。

僕が届ける側になった時は、喜んで持って行っていましたから。（^^ゞ

何気に「仲間意識」や「お互いさま」といったコミュニティを学んでいたのかもしれませんが。

僕の田舎（宮崎）だけのこともかもしれませんが、なんとも優しい時代だったように思います。



先日、個人情報を含む行政文書が記録された神奈川県庁のハードディスク（HDD）がネットオークションを通じて転売されていたという事件がありました。HDDの破壊処理を請け負っていたIT機器の回収業務会社の50代の男性社員が、HDDを会社から毎日のように盗んで3年以上もの間、転売

していたとのこと。いったん流出した機密情報を完全に回収する術はありません。

いったい職業倫理はどうなっているのか、職場の人間関係はどうだったのか。

何ともやりきれない気持ちにさせられる衝撃的な事件でした。



いうまでもなくITをはじめとする技術の進歩のおかげで、とても便利な世の中になりました。

今後AI（人工知能）がさらに進み、また社会に浸透することで、仕事も働き方も変わっていくことと

思います。でも、道具は道具。「人」がプログラミングを行い、データをセットすることでシステムは機能します。そして、それを何にどう活用していくかを考え、実践するのも、また「人」。

つまりは、どんなにAIが進んでも大切なインプットとアウトプットの部分に携わるのは所詮人間です。

AIが未来を変えるのではありません。未来をどう変えるかは、AIを運用する「人」次第だと思います。

だからこそ、人材育成が大事なのだと僕は思うのです。

「人」に目を向けることが大事だと思うのです。



キミ、
優しくないね

あの昭和の僕の小学生の時代。

正直なところ、今の給食のパンほど美味しくなかったとは思いますが。（^^ゞ

学校を休んだ僕に、クラスメートが持ってきてくれた給食のパンが嬉しかったのは、

別にパンが食べたかったからではなかったはず。

クラスメートが学校を休んだ僕にわざわざパンを持って来てくれたその「気持ち」が、嬉しかったのだと思うのです。学校を休んでいても、パンという実体を介して僕はクラスメートと、学校と繋がっていました。

だからこそ、僕にももらったパンというバトンを、今度はその子が休んだ時に

僕からその子に渡したいと思ったのではないのでしょうか。



ありがとう。
次はハンバーガー
お願い。

初めて令和で迎える新しい年は、そんな「人に優しい年」にしたいものだと思います。